

令和7（2025）年度 家庭教育オピニオンリーダー研修⑥ 実施報告

実施日：令和7（2025）年10月29日（水）

○ グループ協議「家庭教育支援の取組に向けて②」

総合教育センター職員

前回に引き続き、子育てに関する現状や課題を踏まえながら、各グループで家庭教育支援として取り組めそうな活動について検討しました。前回計画した家庭教育支援活動プログラム案を基に、対象者・実施時期・場所に加え、実施のポイントや留意点など詳細な点も話し合われ、各案の実現可能性を高める工夫がなされました。協議の終盤には、発表に向けた役割分担を行い、リハーサルも実施しました。

協議を通して完成したプログラム案には、内容や期待される効果、対象者が参加しやすくなるための工夫などが具体的に盛り込まれており、企画した活動をぜひ実現させたいという受講者の熱意が強く感じられました。



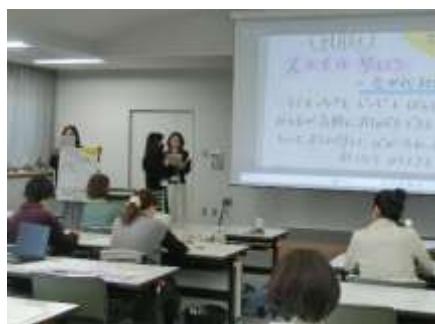
○ 発表・情報交換「家庭教育支援の取組に向けて②」並びに閉講式

総合教育センター職員

研修の総まとめとして、各グループが考案した家庭教育支援プログラム案の発表を行いました。どのグループも、協議の成果を分かりやすく伝えており、内容の充実ぶりがうかがえました。特に、対象者への効果的な周知方法、父・母・祖父母それぞれに焦点を当てた支援策、コミュニケーションが取りやすく仲間づくりが促進されるプログラムなど、随所に創意工夫が見られました。発表後には、参観していた栃木県家庭教育オピニオンリーダー連合会の皆様から、各活動案に対する期待の声、実践に向けた具体的なアドバイスが多数寄せられました。

その後、連合会の支部ごとに分かれ、各支部の方と受講者との情報交換が行われました。受講者は、各支部の具体的な活動内容について理解を深めることができました。

続いて行われた閉講式では、受講者一人ひとりに修了証が授与され、6日間にわたる研修が無事終了しました。研修を修了された皆様には、今回の学びや気付きを今後の活動に生かし、地域に根ざした家庭教育支援の実践者として活躍されることを期待しております。



☆受講者の声（アンケートから）

- ・研修を通して様々な方々と出会い、学びがたくさんありました。まずは支援する場所の現状を理解することが大切だと実感しました。
- ・皆さんの真剣なお考えが聞けて、深い学びと実践につながる考え方があつても勉強になりました。「継続するためにはどうしたらいいのか」、「誰に届けたらいいのか」と考えることは、届けられることにつながるので、大切なことだと思います。
- ・先輩方に聞きながらまずは現場デビューをして、慣れてきたら少しずつ、新しい企画もしていけたら良いなと思います。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail:skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp